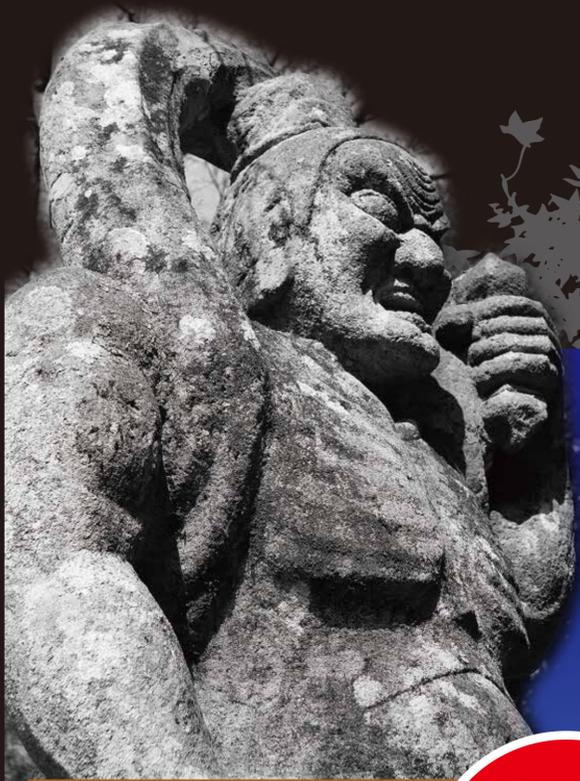


# 豊後高田市 石造仁王像案内図



**■珍しい仁王さん発見！?**  
 平安時代後期に制作された9体の仏像（重要文化財）で知られる真木大堂には、珍しい仁王さんがいらっしゃいます。真木大堂入口の仁王さんは、現在ご意見箱として活躍していますが、元々は携帯電話でした（昭和57年制作）。また、日本堂の中には木造の仁王さんがあり、阿形の方は平安時代末期の制作で九州でも最古級（県指定有形文化財）の仁王さん、昨形は江戸時代後期に阿形を真似て作られたものです（市指定有形文化財）。ぜひこの木造の仁王さんにも会っててください。

**■みんなで携帯電話中！?**  
 まるで仁王同士で携帯電話をかけているようですね。どんな会話をしているか、みなさんも想像してみてください。実は、仁王さんたちが持っているのは「金剛杖」（こんごうじょう）といって古代インドの武器です。「杵（きね）」の形をしていて、中央部が取手で両端に刃がついているんです。堅固であらゆるものを打ち砕く意味で「金剛」としています。堅固であらゆるものを打ち砕く悪魔を破砕し煩惱（ぼんのう）を打ち破る象徴なんですって。



